

株式会社エービーエム

2020年度

環境経営レポート

2020年4月～2021年3月

発行日：2021年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



®環境省
エコアクション21
認証番号0011545

～ 目 次 ～

1. 社是・経営方針・環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 2
2. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3
 - 2-1. 事業者名及び代表者氏名
 - 2-2. 事業所所在地
 - 2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - 2-4. 創業（設立）年月日
 - 2-5. 資本金
 - 2-6. 認証・登録範囲
 - 2-7. 事業の規模
 - 2-8. 実施体制
3. 環境経営目標とその実績・・・・・・・・・・・・・・・・ p 5～13
 - 3-1. 環境負荷の現状（令和2年度環境負荷自己チェック結果より）
 - 3-2. 環境経営目標（単年度・中期）と達成状況
4. 環境経営計画と取組結果並びに次年度の取組内容・・・・・・・・ p 14
5. 指定管理施設の環境負荷について・・・・・・・・ p 15
6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無・・・・・・・・ p 16
 - 6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況
 - 6-2. 法令違反・訴訟等の有無
7. 代表者による見直しの結果・・・・・・・・ p 16
8. 環境コミュニケーションの取組・・・・・・・・ p 17～19

当社の新型コロナ対策について



before

左図のように総務、清掃業務部、設備管理部が一つのフロアに約20人の社員がいる環境でしたが、壁を増設し、エリアを分断、社員同士の「密」を解消しました。



after



after



before

2階は研修室でしたが1階から出るようになった清掃業務部と設備管理部の執務室にレイアウト変更し、組織間での感染を未然に防止いたしました。



after



after



全社員にマスクを支給し、消毒液も確保しました。接触による感染リスクを無くすために、人感センサー付き照明に切り替えました。



昨年12月に敷地内に研修センターを設置し、あらゆる感染症対策を講じながら、社員教育も継続しています。



社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明



2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社 エービーエム
- 代表取締役社長 赤間俊明

2-2. 事業所所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 南陽営業所：〒992-0472 山形県南陽市宮内 4641

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：清掃業務部部长 遠藤雅之
- 連絡担当者：企画・人事部部長 田口浩之
- 連絡先：TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
- Email：sale@y-abm.co.jp

2-4. 創業（設立）年月日

- 1968年（昭和43年）9月

2-5. 資本金

- 1,000万円



2-6. 認証・登録範囲

1) 対象サイト：本社ならびに南陽営業所、指定管理施設

2) 事業活動：

警備業務（機械警備・常駐警備等）、清掃業務（日常清掃・定期清掃等）

ビル総合管理業務（設備管理・環境衛生管理等）、指定管理業務

2-7. 事業の規模

事業規模	事業年度	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)	令和元年度 (H31.4~R2.3)	令和2年度 (R2.4~R3.3)
売上高(千円)		773,711	791,260	826,570	847,513	832,691
認証対象従業員数/全従業員数		229/263	234/268	280/280	280/280	270/270
従業員数:本社		38	38	38	38	38
従業員数:南陽営業所		7	7	7	7	7
床面積(m ²):本社		303.9				
床面積(m ²):南陽営業所		101.8				

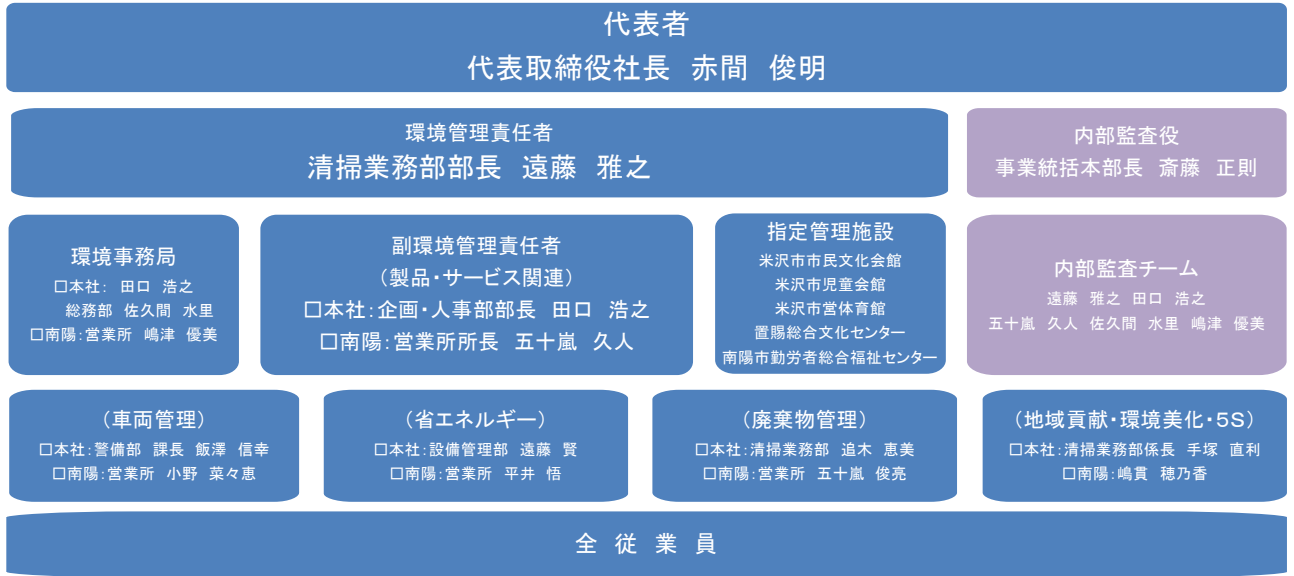
※売上高は、当社会計年度(4~3月)に合わせて集計しています。従業員数は各年度4月時点での在籍数です。従業員数には、業務受託現場に直行直帰する従業員は含まれていません。



2. 組織の概要



2-8 実施体制



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者 (現場環境管理責任者) を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする 環境活動レポートの承認
内部監査役	<ul style="list-style-type: none"> 内部監査チームを組織して、適切に内部監査を実施する 監査の結果を代表者及び環境管理責任者に報告する 内部監査員の教育を実施する
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> 内部監査役の指示により、中立的な立場で、対象となる部門の内部監査を実施し、マネジメントシステムの有効性について評価し、記録を作成し、内部監査役に提出する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの作成・発行
副環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐する それぞれの所轄 (本社・南陽営業所) の環境の取組を管理する 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開 (事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 定期 (四半期ごと) 又は環境管理責任者の招集により開催する 推進委員会のメンバーは、正副環境管理責任者、環境事務局とし、そのときの審議事項の内容によって、代表者、内部監査役の出席を仰ぐ 委員会の議題は、環境目標の達成状況、環境活動計画の取組状況、環境関連法規の順守状況、環境上の苦情や緊急事態への対応、内部監査の結果や審査人からの指摘事項への対応、その他、環境管理責任者が必要と判断した事項とする 審議の結果に基づき、適切な是正予防処置を定め、関係者に指示する
部門責任者 ■製品・サービス関連 ■車両管理 ■省エネルギー ■廃棄物管理 ■地域貢献・環境美化・5S	<ul style="list-style-type: none"> 関連する環境目標ならびに環境活動計画の設定ならびに改訂の提案 環境活動計画の取組状況の監視ならびに指導 環境目標の達成状況に応じた是正策予防策の提案と実施または目標の見直しの具申 環境負荷削減につながる改善提案ならびに情報収集 取組に必要な手順書・マニュアル等の整備 取組に必要な環境教育の企画と実施 その他、担当部門の目標達成に必要な事項
施設環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の環境の取組を管理する 施設内における環境負荷の削減に向けた目標と活動計画の提案 環境負荷データの取りまとめと報告 環境目標の達成状況に応じた是正策予防策の提案と実施または目標の見直しの具申 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

令和2年度からの変更点 事務局機能の効率化のため、環境管理責任者と環境事務局長を交代いたしました。各部門の担当者を一部交代いたしました。

3. 環境経営目標とその実績 (本社及び南陽営業所)



3-1. 環境負荷の現状(令和2年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H30年度東北電力(調整後:0.528)を用いています。

1) 当社における令和2年度のCO₂排出量は合計75,742kg-CO₂となっており、前年度比15.9%増加しました。これは平均的な一般家庭18軒分の排出量に相当します。

(平成30年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,150kg-CO₂; 出典:温室効果ガスインベントリオフィス)

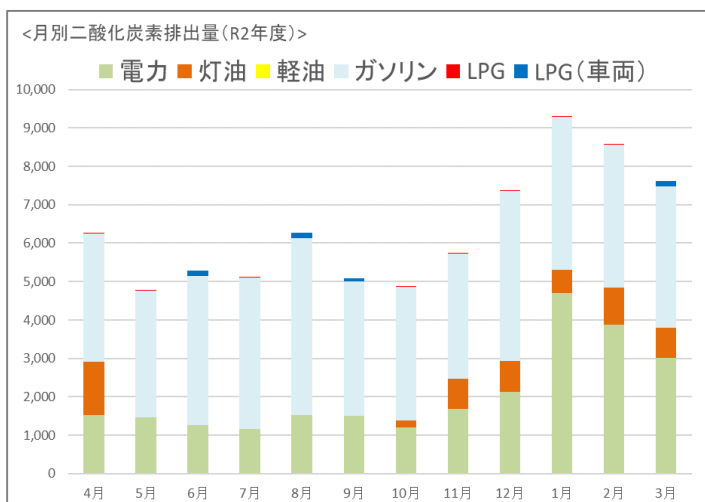
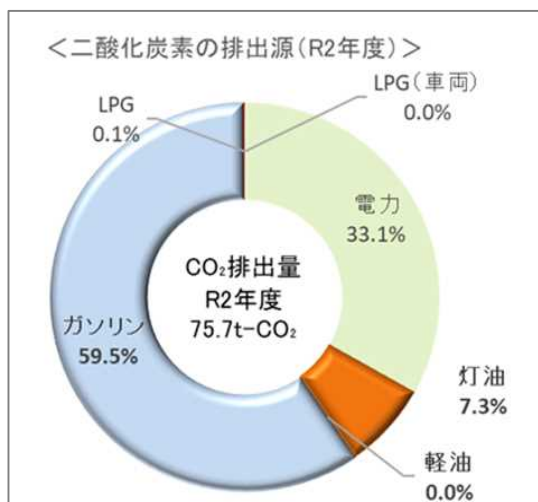
2) 当社から排出されるCO₂の60%はガソリン・LPG(車両用)の消費によるもので45,089kg-CO₂(前年比9.0%増)、次いで電力の使用に伴うものが33.1%、25,094kg-CO₂(同35%増)、灯油の消費に伴うものが7.3%、5,500kg-CO₂(同38.0%減)などとなっています。

3) ガソリン、LPGは、業務用車両の運行に伴い消費し、電力は事務所の照明、冷暖房、消雪用井戸ポンプの稼働で使用しています。また、灯油は冬期間の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。

4) 月別のCO₂発生量は12月~3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、灯油消費量の増加と消雪ポンプ稼働に伴う電力使用量が増加するためです。令和2年度は令和元年度に比して、降雪量も多く、寒い日が続いたため、灯油・電気の使用量が増加しています。ガソリンは、月による変動にあまり特徴はありませんが8月、12月が多い傾向にあります。これは、冷房、暖房を使用しているためです。

令和2年度は、新型コロナ対策で、本社をリフォームし、灯油による暖房から省エネタイプのエアコンに切り替えました。また、普段使用していない研修室を清掃業務部と設備管理部の執務室に変更したことにより、電力使用量は大幅に増加いたしました。

5) 以上のことから、特に車両運行に伴うガソリン・LPGの削減、冬期間の暖房使用及び、消雪用ポンプ稼働に伴う電力使用の削減などが重点課題となります。



■ 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物:可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、本社・南陽それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、本社482kg、南陽98kg、次いで紙類(再生資源)が本社199kg、南陽86kgなどとなっていました。なお、リサイクル率は本社32.2%、南陽50.0%となっていました。

2) 産業廃棄物:汚泥(ワックス剥離液・洗剤廃液等)が大部分で全体の70%(2,798kg)を占めています。その他の廃棄物については、廃プラスチック、乾電池以外、管理受託現場から排出されたものとなります。

■ 総排水量(水使用量)

本社・南陽ともに融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。本社、南陽合わせて、665m³使用しました。前年比32%増加しました。なお、放流先は本社は公共用水域(浄化槽)、南陽は下水となります。

■ 化学物質使用量(購入量)



清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものを使用していましたが、令和2年度よりPRTR成分を含有している洗剤、及び剥離剤は使用していません。



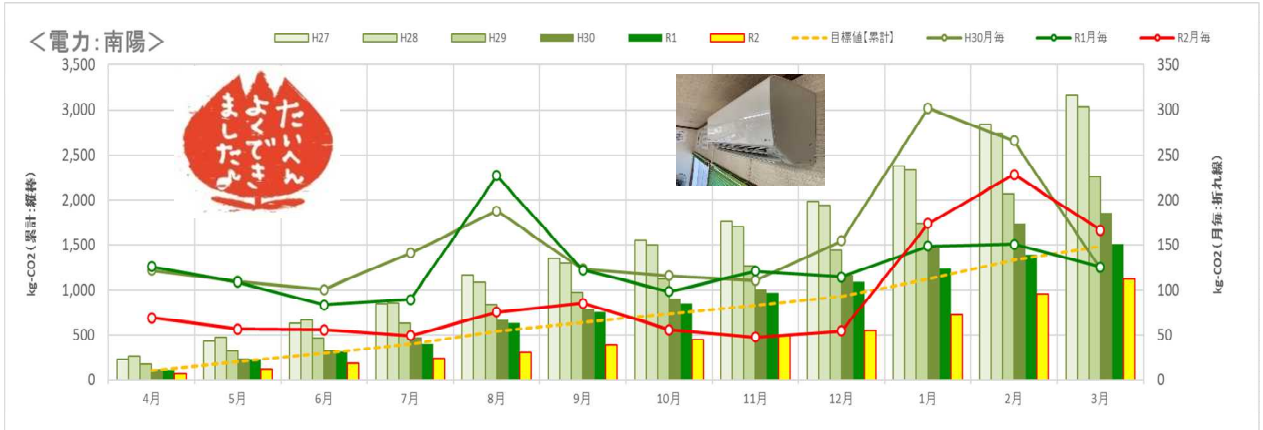
3-2. 環境経営目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、7項目（二酸化炭素、廃棄物、水、化学物質、グリーン購入、製品・サービス関連、山形エコアクション21対応項目）について、環境目標（単年度目標&5年間中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

※冬期間、本社の消雪用地下水揚水ポンプに使用する電力については、積雪量によって大きく変動することから、数値目標の対象としていません。

■ 二酸化炭素排出量（電力）

【R2年度目標】（本社）データ取り期間のため無し（南陽）H27年度比53%削減
 【中期目標（H28~R2）】（本社）データ取り期間のため無し（南陽）H27年度比53%削減



【取組結果】（取組期間：R2.4~R3.3）

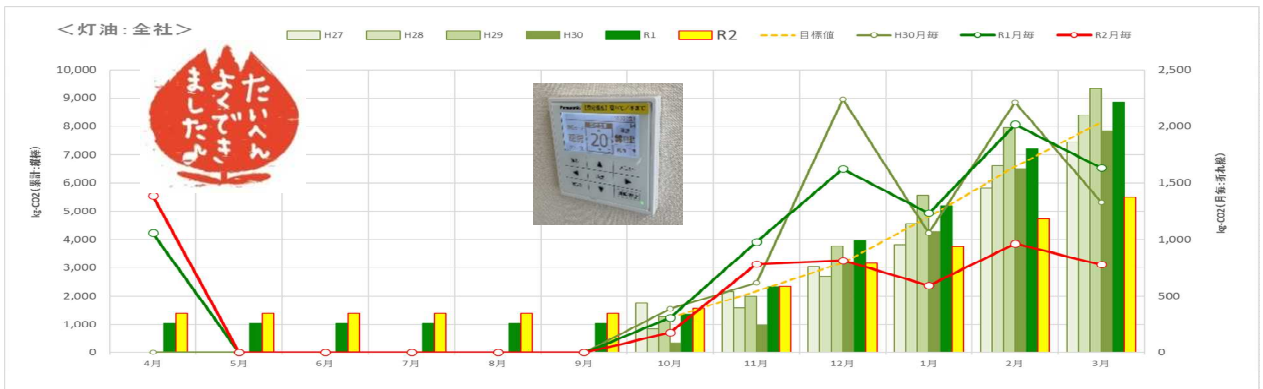
- 基準年度実績：
（本社）データなし（南陽）3,161 kg-CO₂
- 取組期間目標：1,486 kg-CO₂
- 取組期間実績：1,118 kg-CO₂
- 増減量：-2,043 kg-CO₂
- 増減率：-64.6%

【評価コメント】

新型コロナ対策のため、1ページの通り本社は大幅なリフォームを実施し、これまでと電力の使用状況が変わったため本年度はデータ取り期間といたしました。南陽は64.6%減で目標を達成することが出来ました。センサー式の照明に切替、電気ポットをケトルと魔法瓶に変えたことや、働き方改革のもと強アルカリイオン電解水「薬落水」によって作業が効率化され残業時間を減らすことができました。雪が多く厳しい冬でしたが待望の暖房エアコンが入り、省エネが加速しました。

■ 二酸化炭素排出量（灯油）

【R2年度目標】（本社）H28年度比10%削減（南陽）R1年度比10%削減
 【中期目標（H28~R2）】（本社）H28年度比10%削減（南陽）R1年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：R2.4~R3.3）

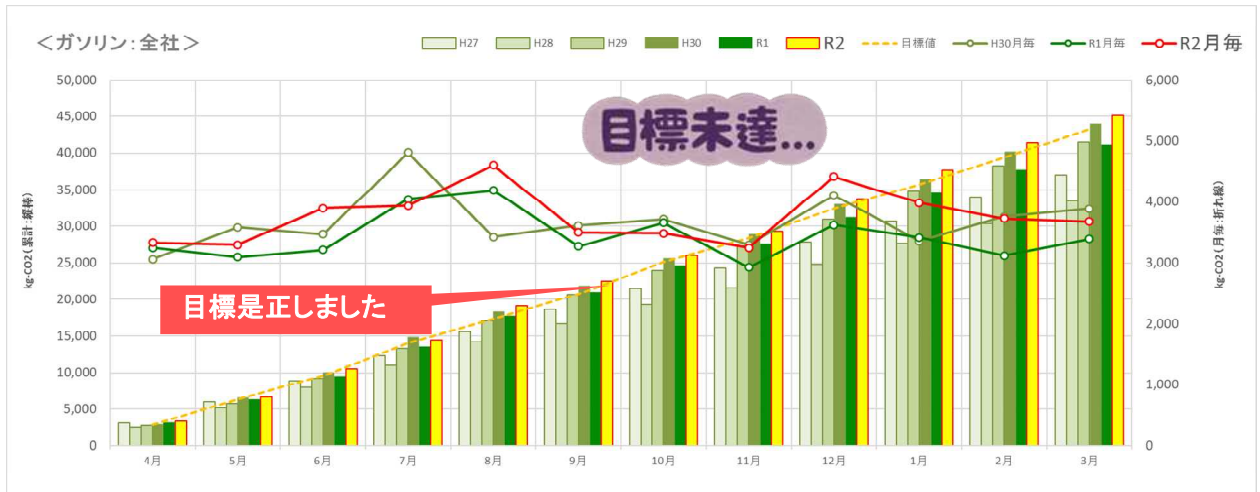
- 基準年度実績：
（本社）6,893 kg-CO₂（南陽）2,161 kg-CO₂
- 取組期間目標：8,148 kg-CO₂
- 取組期間実績：5,500 kg-CO₂
- 増減量：-2,900 kg-CO₂
- 増減率：-34.5%

【評価コメント】

本社43.8%減、南陽24.8%減となり、全社として目標を達成することができました。本社では、暖房をファンヒーターから暖房エアコンに切替え、唯一使用していたのは、屋外の研修室用にブルーヒーターになったため大幅に使用削減することが出来ました。南陽も同様にファンヒーターから暖房エアコンに切り替わったため、大きな削減となりました。

■ 二酸化炭素排出量（ガソリン）

【R2年度目標】（本社）H30年度比6%削減（南陽）H30年度比4%削減
 【中期目標（H28～R2）】（本社）H30年度比6%削減（南陽）H30年度比4%削減



【取組結果】（取組期間：R2.4～R3.3）

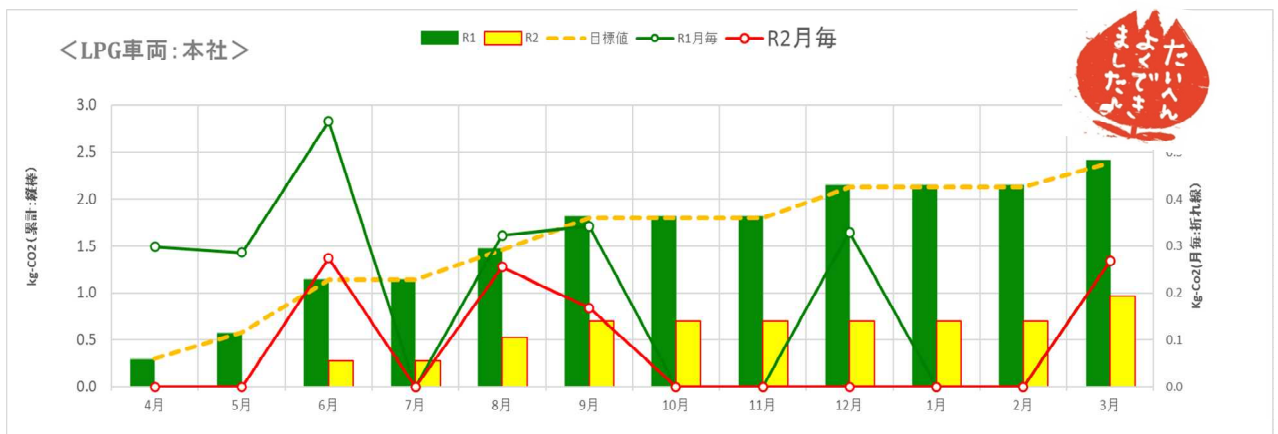
- 基準年度実績：
（本社）38,331 kg-CO₂（南陽）5,751 kg-CO₂
- 取組期間目標：43,200 kg-CO₂
- 取組期間実績：45,089 kg-CO₂
- 増減量：+1,007 kg-CO₂
- 増減率：+2.3%

【評価コメント】

本社2.7%増、南陽0.2%増となり、目標を達成することが出来ませんでした。当初はより厳しい目標を掲げておりましたが、年度途中で目標を是正いたしました。それでも達成出来ませんでした。主な要因と考えられるのは、コロナ対策で乗車制限を設けたことにより、これまで1台で良かったのが2台必要になったことで車両の使用量が増加したこと、そして昨年度は厳しい冬で暖気運転が必要だったことが考えられます。この乗車制限は今後もコロナ対策としてつづけることになるので、目標の再設定が必要と考えております。

■ 二酸化炭素排出量（LPG車両）

【R2年度目標】R1年度比1%削減
 【中期目標（R1～R2）】（本社）R1年度比1%削減



【取組結果】（取組期間：R2.4～R3.3）

- 基準年度実績：2.4 kg-CO₂
- 取組期間目標：2.3 kg-CO₂
- 取組期間実績：1.0 kg-CO₂
- 増減量：-1.4 kg-CO₂
- 増減率：-60.1%

【評価コメント】

12月からしばらくの間エンジンをオーバーホールする修理をしていたこともあり、昨年度は使用頻度が低かったので目標を達成することができました。

低CO₂排出ガスのクリーンなLPG車

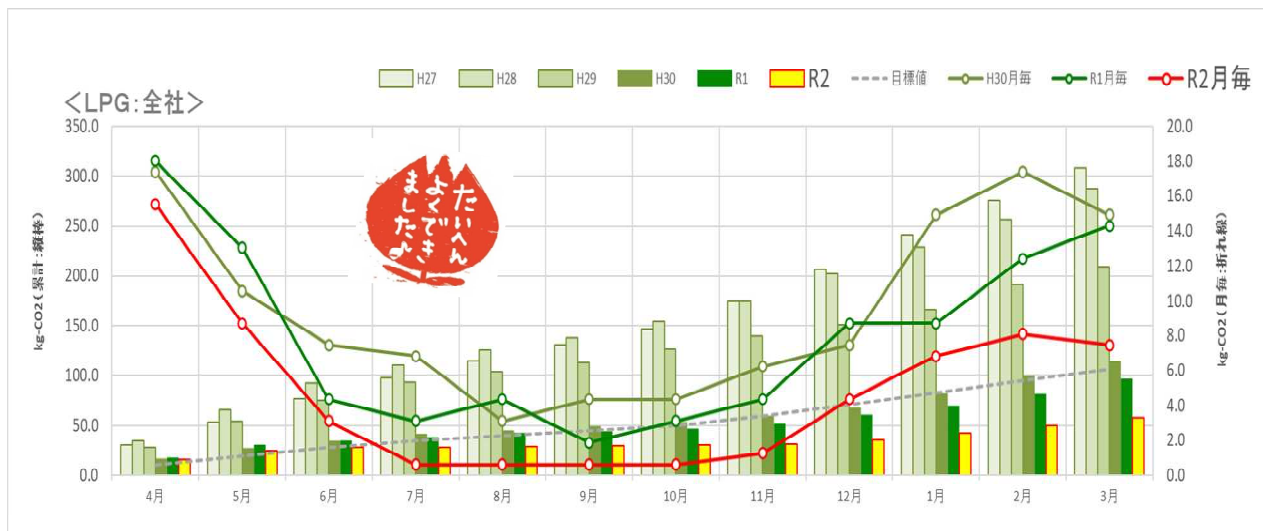
LPG車とガソリン車の二酸化炭素排出量を比較すると、2300ccクラスでは約8.7%、ハイブリッドタイプでは約8.0%程度、LPG車の二酸化炭素排出量の方が少なくなっています。



■ 二酸化炭素排出量（LPG）

【R2年度目標】（本社）H27年度比55%削減（南陽）H27年度比74%削減

【中期目標（H28～R2）】（本社）H27年度比55%削減（南陽）H27年度比74%削減



【取組結果】（取組期間：R2.4～R3.3）

- 基準年度実績：
 - （本社）137 kg-CO₂（南陽）171 kg-CO₂
- 取組期間目標：106.2 kg-CO₂
- 取組期間実績：57.8 kg-CO₂
- 増減量：-250.4 kg-CO₂
- 増減率：-81.2%

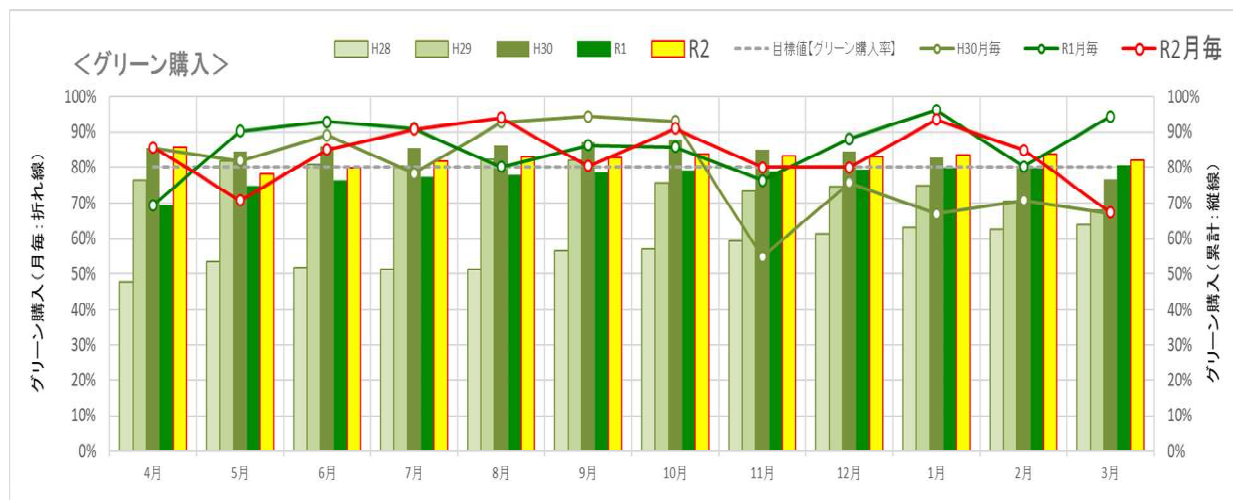
【評価コメント】

本社76.9%減、南陽84.7%減となっています。昨年度同様に夏場の使用は控え、温度設定を低くするなどの成果が出ております。コロナ禍によって休憩室の使用頻度も下がったことも要因と考えられます。今後も使用ルールを徹底し、削減率向上に努めていきたいと考えております。

■ グリーン購入

【R2年度目標】グリーン購入率80%以上

【中期目標（H28～R2）】グリーン購入率80%以上



【取組結果】（取組期間：R2.4～R3.3）

- 取組期間目標：80%
- 取組期間実績：82%

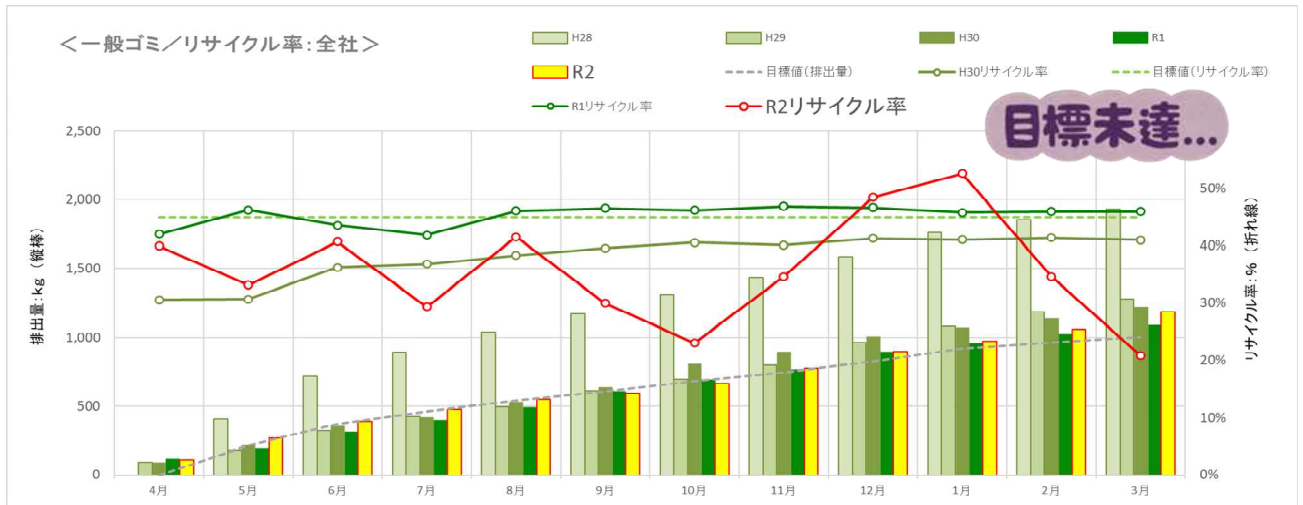
【評価コメント】

消耗品を購入する際はグリーン購入を意識して進めてきました。社員にも同様の意識が芽生えてきております。結果、目標を達成することが出来ました。

■ 一般廃棄物排出量

【R2年度目標】 H28年度比 排出量48%削減 / リサイクル率45%

【中期目標 (H28~R2)】 H28年度比で排出量48%削減を維持 / リサイクル率45%



【取組結果】 (取組期間: R2.4~R3.3)

■ 基準年度実績:

排出量 2,108 kg (H28.4月は実績値を元に算定)
リサイクル率 30%

■ 取組期間目標: 排出量 1,004 kg リサイクル率45%

■ 取組期間実績: 排出量 1,184 kg
リサイクル率36%

■ 増減量: 排出量 -748 kg リサイクル率 +6%

■ 増減率: 排出量 -39%

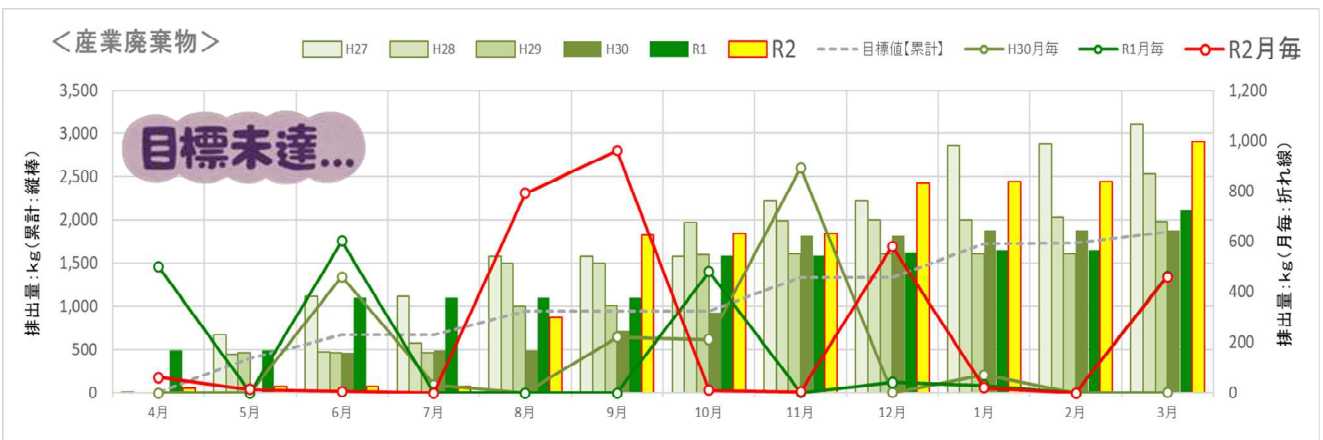
【評価コメント】

排出量は本社947kg、南陽237kg、リサイクル率は、本社32%、南陽50%となり、排出量、リサイクル率ともに目標を達成できませんでした。主な要因は、本社のリフォームで大量の廃棄物が出たこと、5Sの一環で大掃除を行い、古い制服や作業着(可燃)を廃棄したことが考えられます。ゴミの分別間違いは発見次第朝礼などで注意する等、リサイクル率改善に向けて取り組んでまいります。

■ 産業廃棄物排出量

【R2年度目標】 H27年度比40%削減

【中期目標 (H28~R2)】 H27年度比40%削減を維持



【取組結果】 (取組期間: R2.4~R3.3)

■ 基準年度実績: 3,103 kg

■ 取組期間目標: 1,862 kg

■ 取組期間実績: 2,904 kg

■ 増減量: -199 kg

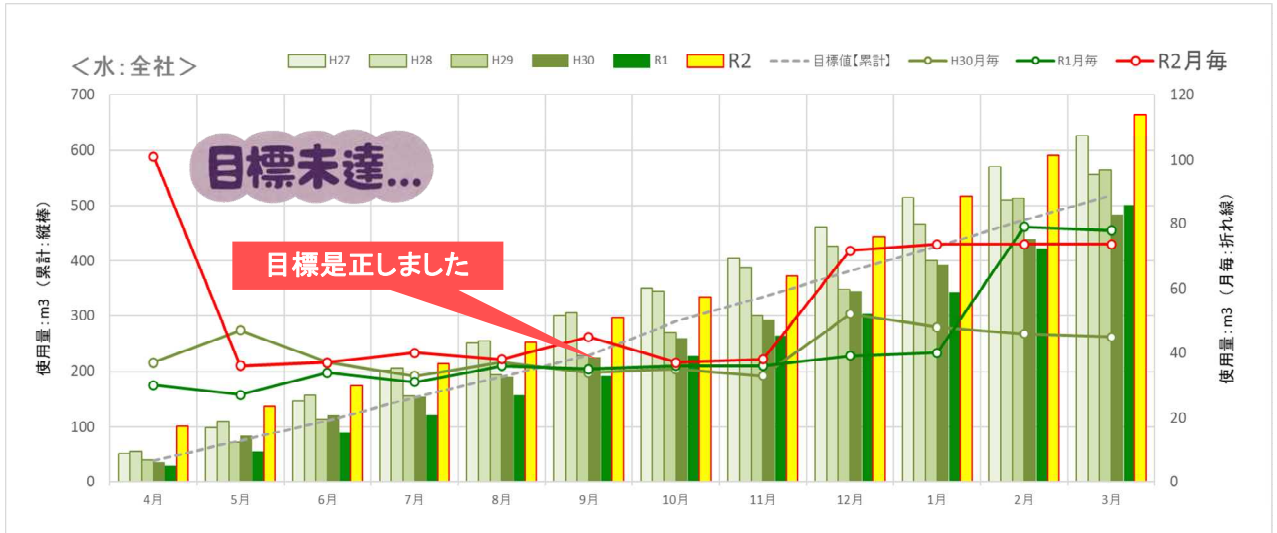
■ 増減率: -6.4%

【評価コメント】

コロナの影響で床洗浄清掃が8月、9月に集中し、12月も同様に定期清掃があり、例年通りでしたが、3月にも剥離作業がスポットで増えたため、汚泥の排出量が増えました。よって目標を達成することが出来ませんでした。

■ 水使用量

【R2年度目標】（本社）H27年度比14%削減（南陽）H27年度比41%削減
 【中期目標（H28~R2）】（本社）H27年度比14%削減（南陽）H27年度比41%削減



【取組結果】（取組期間：R2.4~R3.3）

- 基準年度実績：
（本社）394 m³（南陽）232 m³
- 取組期間目標：467 m³
- 取組期間実績：665 m³
- 増減量：+39 m³
- 増減率：+6.3%

【評価コメント】

感染症対策による手洗いの励行により、水の使用量が増えました。また、管理施設の洗濯を、作業効率化のため、営業所で行ったことで使用量が増加したと考えられます。去年は厳しい寒さだったため、凍結防止を目的に水を出しっぱなしにしておりました。途中目標を是正しましたが、それでも大きく目標を超えてしまいました。

■ 化学物質使用量（PRTR対象物質）

【R2年度目標】基準年度比84%削減
 【中期目標（H28~R2）】基準年度比84%削減を維持

PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)
 : 化学物質排出移動量届出制度
 有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組み



【取組結果】（取組期間：R2.4~R3.3）

- 基準年度実績：4.5 kg
- 取組期間目標：0.7 kg
- 取組期間実績：0 kg
- 増減量：-4.5 kg
- 増減率：-100%

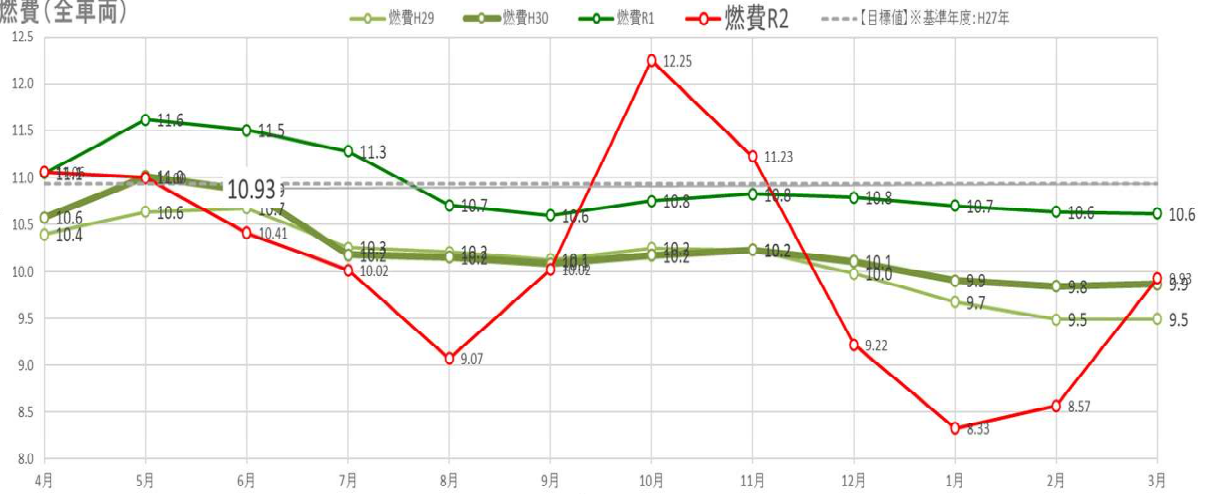
【評価コメント】

清掃業務で使用している洗剤、ワックス、剥離剤を化学物質を含まない商品へ切替を進めており、一部狭い範囲で剥離をするための商品を使用しておりましたが、作業方法を見直し、全て化学物質を含まない商品に切替を完了いたしました。

燃費

【R2年度目標】 基準年度燃費を30%向上
 【中期目標 (H28~R2)】 基準年度燃費を30%向上を維持

燃費(全車両)



【取組結果】 (取組期間: R2.4~R3.3)

- 基準年度実績: 8.41 km/L
- 取組期間目標: 10.93 km/L
- 取組期間実績: **9.93 km/L**
- 増減量: +1.52 km/L
- 増減率: +18.1%

【評価コメント】

昨年度は感染症対策により、同一現場に複数台での移動もあり、使用する車両の台数が増えました。また、夏は厳しい暑さ、冬は厳しい寒さだったこともあり、エアコンの使用量も増えたと思われます。(8月と1月がピーク)。結果、目標を達成することができませんでした。

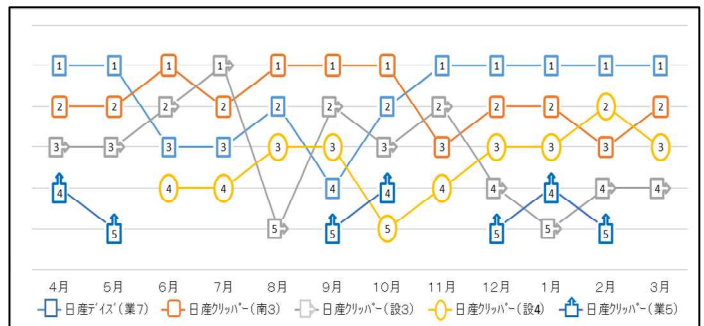
社有車 **E-1GP**

2020-2021



社有車E-1GPとは エコドライブを全従業員に周知するため、広報誌面において、社有車の燃費を毎月集計し、その月の燃費の良かった順位ベスト5を発表しています。毎年その順位にポイント(例4月1位5点)を付けて集計し、年間の高燃費車両を勝手に表彰するものです。

1位	日産デイズ(業7)	清掃業務部	平成27年2月	51pt
2位	日産クリッパー(南3)	南陽営業所	令和元年8月	50pt
3位	日産クリッパー(設3)	設備管理部	平成30年8月	34pt
4位	日産クリッパー(設4)	設備管理部	令和元年8月	26pt
5位	日産クリッパー(業5)	清掃業務部	平成30年8月	10pt



令和2年度エコドライブオブザイヤーに輝いたのは、おとし、昨年度に引き続き、清掃業務部の日産デイズで獲得ポイントは51ポイントでした。惜しくも2位は南陽営業所の日産クリッパーで、ポイント差なんと1ポイントでした。トップ5の順位変動を見ると、前半南陽クリッパー、後半デイズが追い込み、差し切った感じでしょうか。昨年度業務車両を大幅入れ替えた結果、トップ5は全て軽自動車という結果になりました。一方、全体に目を向けますと令和2年度の全車両の燃費は目標の10.93 km/Lに届きませんでした。11月を境に目標値を下回ってしまいました。理由としては、冬期間大雪によって全ての車両が暖気運転を余儀なくされたことが考えられます。(環境コミュニケーションレポート A-cology58号より)

■ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

1) 社員のスキルアップ

…スキルアップ研修会の実施

毎年参加していた電話応対コンクールでしたが、コロナ感染対策を徹底するため、泣く泣く不参加となりました。次こそは・・・

社はならびに経営方針に掲げる「技術・知識の向上」や「社員のスキル向上により、業務の効率化を図る」ため、業務の区分ごとに実施回数を定め、計画的に研修会を開催しています。

【R2年度1人当たりの実施回数】（延べ実施回数）

- 警備…2回 (10回)
- 清掃業務…1回 (11回)
- 設備 …1回 (12回)
- その他の社員（指定管理・総務・電話交換等）1回 (2回)
- 新人社員研修 1回 (2回)
- エコドライブ研修1回



コロナ禍においても、社員研修は感染症対策を万全にして実施いたしました。

毎年実施していたエコアクション21報告会は感染症予防のため開催せず、代わりにペーパーを配布し社員に周知いたしました。毎年アドバイザーとして講話いただいている環境ネットやまがた代表の河合直樹様に講評をいただきました。



2) 誤発報による緊急出動回数の削減 該当発生回数の把握&原因分析

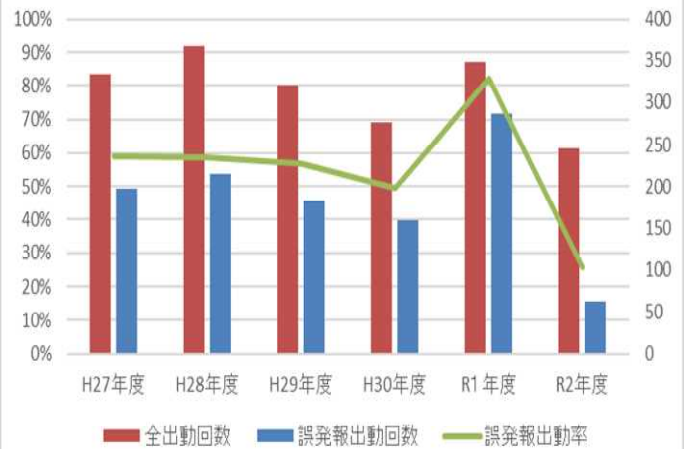
【取組結果】（取組期間：R2.4～R3.3）

- 取組期間目標：40%
- 取組期間実績：25.6%

出動件数、誤発報件数ともに減少いたしました。お客様施設の開始解除ミスの件数、未施錠、その他、人的な要因による誤発報の件数が昨年度と比較して減少しています。センサーの定期的な交換を実施し、お客様には操作方法の周知を徹底した結果、大きく誤発報件数を減らすことが出来ました。誤発報を減らすことにより無駄な移動を減らすことが出来ます。

誤発報とは
開始・解除ミス、鍵収納ミス、未施錠→人的要因
センサー不良→機械的要因
その他（人的）

誤発報出動率



■ 地域の環境保全（山形エコアクション21対応項目）

【R2年度目標】会社周辺の清掃活動／環境保護団体の支援・協力

【中期目標（H28～R2）】上記を継続的に実施



毎月第一金曜日に社屋・南陽営業所の周辺清掃を実施。（冬期間を除く）
また、令和2年9月8日には、米沢商工会議所建設部会が主催する「社会貢献清掃事業」に参加いたしました。
今年はコロナ禍で感染防止対策を留意した上で、本社から近くの小学校までを二班に分けて重点的にゴミ拾いを実施いたしました。



ちなみに、みんなでお揃いで着ているのは「地域貢献ベスト」です。地域貢献活動に参加する際に着用します。背中には「社是」がプリントされています。



熱のこもった清掃指導で、生徒たちも窓ガラス清掃に夢中に！

令和2年度も「WAKUWAKUWORK」に参加いたしました。新型コロナウイルス感染症予防のため、例年では2校（米沢中央高校・置賜農業高校）で清掃指導や警備員の仕事紹介を行っていましたが、昨年度は米沢中央高校の生徒の皆様にも窓ガラス清掃の指導を行ってまいりました。

「WAKUWAKUWORK」とは

米沢商工会議所が主催する、学校に地元企業・公共団体が集まり、進路決定前の高校生に様々な職業を体験してもらう事業です。

従業員とその家族で『家庭・自動車のアクション』にチャレンジ！～家庭での省エネ・節電・エコドライブにチャレンジ～

山形県地球温暖化防止県民運動推進協議会主催の『家庭・自動車のアクション』に従業員32名が参加しました。『家庭・自動車のアクション』とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガス排出量の削減のため、県民みんなで取り組む活動です。家庭でできるアクションという前提があるため、比較的簡単な内容ばかりでした。項目ごとに1人1日当たりのCO₂削減効果を推算しました。結果は下記のとおりです。



順位	項目	1人1日当たりのCO ₂ 削減効果(g)	実施人数 【従業員家族含む】	total(92日間)	割合(%)
1	夏の冷房は、室温28℃を目安にする。または、いつもより1℃上げる。	53	75	365,700	1.2%
2	冬の暖房は、室温20℃を目安にする。または、いつもより1℃下げる。（石油ファンヒーターの場合）	55	72	364,320	1.2%
3	電気冷蔵庫の開閉回数は少なくする。また、開閉時間は短くする。	5	102	46,920	0.2%
4	使用しない部屋の照明はこまめに消す。（蛍光灯の場合）	2	111	20,424	0.1%
5	テレビを見ないときは消す。（1日1時間視聴時間短縮）	9	102	84,456	0.3%
6	電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜く。	57	81	424,764	1.4%
7	シャワーは不必要に流したままにしない。（1日1分利用時間短縮）	79	97	704,996	2.3%
8	電化製品を買い換えるときは省エネタイプのもので選ぶ。（電気冷蔵庫の場合）	140	69	888,720	2.9%
9	エコドライブを行う。（例えば、発進時はふんわりアクセルでゆっくりスタートする、車間距離にゆとりをもって加速減速の少ない運転をする）※車1台1日当たりの削減量	717	100	6,596,400	21.7%
10	住宅の省エネリフォームをする。（内窓を取り付けた場合）	569	4	209,392	0.7%
11	太陽光発電パネルや木質バイオマス燃焼機器などの再エネ機器を設置する。（木質バイオマス燃焼機器設置の場合）	1,756	8	1,292,416	4.2%
12	買い物にいくときは、マイバッグを持ち、なるべく省包装のものを買う。	12	95	104,880	0.3%
13	輸送にかかるエネルギーを少なくするよう、できる限り地元産の商品を選ぶ。	0	38	0	0.0%
14	宅配便はなるべく回数で受け取るようにする。	0	65	0	0.0%
15	国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」に賛同する。	0	56	0	0.0%
				削減されたCO₂量	11,103,388 g

今回の活動で削減出来たCO₂排出量を杉の植樹本数に換算すると、約793本になります。（※杉1本当たり、年間14kg-CO₂を吸収すると言われてます）

これは、バスケットコート約6面分の広さに杉を植えたことになります。（※バスケットコート面積：420㎡）従業員数約12%が、家庭でできるちょっとした気遣い（アクション）を、たった3ヶ月間実施しただけでこれだけの結果に...これが、従業員全員が、毎日実施したならば、何倍もの結果に結びつくと考えられます。

- ①CO₂削減量 11,103,388 g → 11,103.388 kg
- ②CO₂削減量を杉の植樹本数に換算（杉は1本当たり1年間で14kg-CO₂のCO₂を吸収すると言われてます）11,103.388 ÷ 14 = 793.099... = 793(本)
- ③広さで換算（1ha(10,000㎡)当たりの杉の植栽本数は約3,110本）793 ÷ 3,110 = 0.254983... = 0.254(ha)



4. 環境経営計画と取組結果 並びに次年度の取組内容



＜評価判定の目安＞
 ○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
 △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
 ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	場所・対象者 (どこで)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	備考、是正処置の必要性等	
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	冷暖房期間	事務所等	○	○	○	○		
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	暖冷房期間	事務所等	—	—	○	○		
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	冷暖房期間	事務所等	○	○	—	—		
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	6月・11月	事務所等	○	○	—	—		
		■不要な照明は消灯	通年	事務所等	○	○	—	—		
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	夏期	全社員	○	○	—	—		
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	冬期間	全社員	—	—	○	○		
		■パソコンは省エネモードで使用	通年	事務所等	○	○	○	○		
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	夏期(通年)	トイレ	○	○	—	—		
		■グリーンカーテン	5月	事務所	○	○	—	—		
	■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	7月	事務所	○	○	—	—			
	■省エネ性能の高いエアコンへの入れ替え	R2まで	事務所等	○	○	○	○			
	■電力使用量の見える化推進(環境負荷データの揭示)	毎月	事務所等	○	○	○	○			
	■ガソリン・軽油使用量の削減	■エコドライブの教育研修		1月	運転者全員	—	—	—	○	
		■エコドライブ自己評価を実施(チェック表による)		10. 1. 4. 7月	運転者全員	○	○	○	○	
■燃費・走行距離の把握(車両日報の記入)			通年	運転者全員	○	○	○	○		
■5000km(6ヶ月)ごとにオイル交換、10000km(1年)ごとにエレメント交換(ハイブリッド車は別途規定する)			通年	車両	○	○	○	○		
■適切な時期でのタイヤ交換		4月・11月	車両管理者	○	—	○	—	—	冬タイヤは11月1日から	
■適切な空気圧の維持		通年	車両管理者	○	○	○	○	○		
■エコタイヤの導入		通年	業務管理者	○	○	○	○	○		
■不要な荷物を乗せたままにしない		通年	車両管理者	○	○	○	○	○		
■業務の効率化(車両運行ルートの管理)		通年	業務管理者	○	○	○	○	○		
■計画的な低燃費車両への入れ替え		5カ年計画	全車両						車両入れ替え時には低燃費車に9月ハイブリッドカー交換	
■その他化石燃料の削減(灯油・LPG)	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。		暖房期間	暖房エリア	—	—	○	○	コロナの影響でエアコン使用しながら換気をする非効率的な使用になった。	
	■窓の内側に断熱材を貼り付ける		暖房期間	暖房エリア	○	○	○	○		
	■ウォームビズの徹底(服装による省エネ推進)		暖房期間	暖房エリア	—	—	○	○		
	■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)		夏期を除く期間	事務所等	○	○	○	○		
	■窓を二重サッシにする		R2まで	本社・南陽	×	×	×	×	省エネ診断を実施した際費用対効果でなくても良いのではと言われました。	
■一般廃棄物の削減(リサイクルの推進)	■廃棄物置場の整理整頓		通年	廃棄物置場	○	○	○	○		
	■不要な資料・カタログ等の辞退・返却		通年	全社員	○	○	○	○		
	■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)		通年	事務所	○	○	○	○		
	■一般廃棄物の排出量記録		排出時	廃棄物置場	○	○	○	○		
	■社内の整理整頓		随時	社内外	○	○	○	○		
■産業廃棄物の削減と適正管理	■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)		通年	廃棄物置場	○	○	○	○		
	■汚泥の濃縮分離ならびに分離水の処理方法の検討と試行		通年	本社	○	○	○	○		
	■充電式乾電池への転換		通年	現場	△	△	△	△	用途によって転換	
	■マニフェスト・契約書類の管理		通年	事務所	○	○	○	○		
■委託先の状況確認	■委託先の状況確認		2年に1度	委託先	×	×	×	×	コロナ禍で実施出来ず	
	■対象化学物質の管理	■SDSの収集整理・対象製品・使用量の把握	通年	本社	○	○	○	○		
	■対象化学物質の削減	■対象化学物質含有量の少ない製品の選定	通年	本社	○	○	○	○	R2全ての商品を切替	
■清掃方法の改善	■化学物質を使用しない清掃手法の検討(情報収集)		通年	本社	○	○	○	○		
	■「節水」の揭示		通年	流し台	○	○	○	○		
■水道使用量の削減	■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)		6月末	流し台	○	○	○	○		
	■地下水の適正利用基準の策定と遵守		通年	敷地内	○	—	—	○	積雪センサーの設置	
	■その他節水対策機器に関する情報収集		通年		○	○	○	○		
■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定		物品購入時	事務所	○	○	○	○		
	■事務消耗品のエコ商品購入率の把握		3ヶ月ごと	事務所	○	○	○	○		
■社員のスキルアップ	■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践		通年		○	○	○	○		
	■資格取得者の増加		通年	全社員	○	○	○	○		
	■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助		通年	全社員	○	○	○	○		
	■機器点検の実施		通年	機械整備施設	○	○	○	○		
■誤発報による緊急出動回数を減らす	■異常発報件数の把握		通年	警備部	○	○	○	○		
	■対策の検討		通年	警備部	○	○	○	○		
■環境保護団体への協力	■「NPO環境ネットやまがた」の入会(支援・協力)		通年		○	○	○	○		
■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施		月1回(冬期以外)	会社周辺	○	○	○	○		
	■その他	■家庭のアクション(夏・冬)参加	夏・冬			○		—	夏のみ参加	

◆令和3年度への変更点 これまでの活動をベースに、省エネ診断を受けたことで判明した、あまり環境負荷軽減に効果がない項目や、ガイドライン2017から削除されたもの、山形EA21関連のもの、すでに実施した項目については見直しいたします。

5. 指定管理施設の環境負荷について

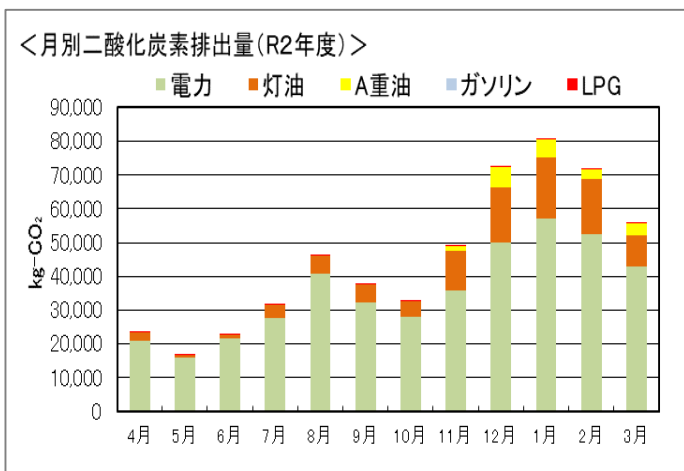
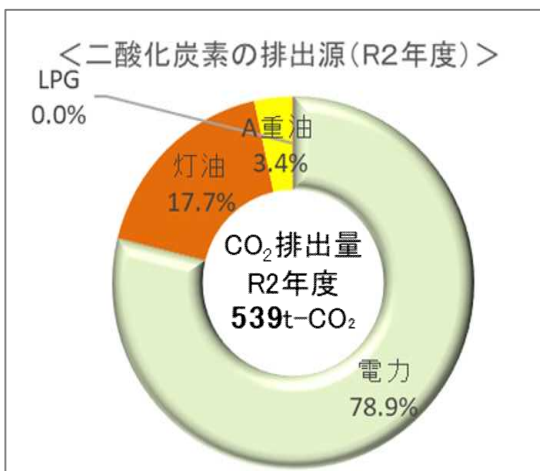


5-1. 環境負荷の現状(令和2年度環境負荷自己チェック結果(指定管理)より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H30年度東北電力(調整後:0.528)を用いています。

- 1) 指定管理施設における令和2年度のCO₂排出量は合計547,395kg-CO₂となっており、前年度比13%削減しました。これは平均的な一般家庭132軒分の排出量に相当します。(平成30年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,150kg-CO₂:出典:温室効果ガスインベントリオフィス)
- 2) 指定管理施設から排出されるCO₂の78.9%は電力の使用に伴うもので425,719kg-CO₂(前年比11.4%減)、次いで灯油の消費に伴うものが17.7%、95,303kg-CO₂(前年比7%減)、A重油の消費に伴うものが3.4%、18,375kg-CO₂などとなっています。
- 3) 電力は事務所の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油、A重油は空調機ボイラー運転、事務所の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。
- 4) 月別のCO₂発生量は7月、8月の夏期間と12月~3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、冷暖房用の空調機を使用する機会が増えること、融雪用の地下水の引き上げポンプ(市営体育館)などそして、主に暖房として灯油、A重油の消費量が増加するためです。
- 5) 以上のことから、特に電力使用量の削減が重点課題となりますが、指定管理施設のように施設の利用によって電力使用量が大きく影響されるので、照明器具のLED化などによる省エネ機器への交換などを行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。



■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物:可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。紙類(再生資源)が最も多く3958kg、次いで可燃ごみが3203kgとなっていました。特に米沢市の職員が入っている置賜総合文化センターは紙類の排出が3,118kgと約9割を占めています。リサイクル率も55.0%と昨年より改善が見られました。

■産業廃棄物:総排出量の93.6%が汚泥でした。次に多かったのは、廃蛍光灯で3.6%でした。児童会館や文化会館はLED化が進行中なので排出量は少ないのですが、市営体育館はそのうち89kg(81.6%)を占めていました。文化センターでは米沢市のゴミのルールに従い、蛍光灯は産業廃棄物でなく、不燃ごみとして処分しています。

■ 総排水量(水使用量)

市営体育館、文化センターで融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。総合計4,295m³使用し、約33%の減でした。なお、放流先は全て下水となります。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。

※各指定管理施設の環境経営レポートはこちらのQRコードから閲覧いただけます。



米沢市市民文化会館



米沢市児童会館



米沢市営体育館



置賜総合文化センター



南陽市
勤労者総合福祉センター

6. 環境関連法規等の遵守状況、 訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、令和3年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- フロン排出抑制法：問題なし
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし
- 浄化槽法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 自動車リサイクル法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。

7. 代表者による見直しの結果



エコアクション21の認証登録を受けて、早5年が経過し、エコアクション21推進委員会を中心に当社の環境経営活動が進められていますが、指定管理施設も加わり、エコアクション21の取組を全組織に拡大して迎えた令和2年度はガイドライン2017版の更新審査の年でしたが、大きな指摘事項もなく、この取組が全組織に拡大しても環境経営システムは有効に機能していることが確認出来ました。

令和2年度の取組結果は、新型コロナ禍において、思うように計画通りに進められず、目標を是正し、なんとか目標を達成したいと取り組んでまいりましたが、未達成となった項目もありました。一方で感染症対策の一環で実施した、本社の大規模リフォームにより、老朽化し、効率が悪かったエアコンを最新の省エネエアコンに切り替えたことで環境負荷軽減につなげることが出来ました。これまで暖房はFF式のファンヒーターを使用しておりましたが、暖房エアコンになったため、CO₂排出量の多い灯油の使用量を減少させることが出来ました。オンラインを活用し、会議を離れている複数拠点から参加出来ることにより、移動の必要が無くなったことで、従業員の負担とCO₂の排出量削減を実現出来ました。

清掃作業で使用するアルカリ洗浄液を環境対応型洗浄液「強アルカリイオン電解水」に変更いたしました。この「強アルカリイオン電解水」によって、作業効率が向上し、社員の残業時間を減らすことが出来ました。残業時間を減らすことは照明の使用時間も減らすことに繋がります。この「強アルカリイオン電解水」は令和2年度に「楽落水（らくらくすい）」として商標登録いたしました。この究極の環境対応型洗浄液を当社のお客様にも販売することにより、環境経営方針を推進させることが出来るようになります。

一方で、指定管理施設においては、新型コロナの影響による休館や利用控えなどで、稼働率が低下し、利用料金収入が減少いたしました。その分、どの施設も電気使用量や水の使用量、灯油の使用量なども減少し、環境負荷軽減になりました。その中で、照明のLED化を着実に進めることが出来ました。今後は契約電力の見直しなどにより、さらに環境負荷軽減を進めていきたいと存じます。

当社は早い段階でSDGsに着目して取り組んでまいりましたが、今後はSDGs達成に向けて、より具体的に取組を強化してまいります。

環境負荷の軽減というエコアクション21の大きな目的を進めることは当然ですが、SDGsそして、ポストコロナを見据えた環境活動の推進をエコアクション21推進委員会を中心として進めて参りますが、その活動を経営者としてしっかりと支えてまいります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間 俊明



ミプリントした用紙でサイクル封筒を作ろう

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol51」より

<p>①ミプリントした用紙を2枚用意。(今回は長形3号封筒をつくるためにA4用紙2枚準備)</p>	<p>②用紙aを右側から数cmのところまで内側に折り、その折れ目を基点に作りたい封筒の幅に合わせて左側も内側に折る(両端がのりしろになる)</p>	<p>③用紙bを縦半分にする。(長形3号封筒の場合はA4縦半分ですりますが作りたい封筒の幅を考慮してその都度切る大きさを調整する)</p>	<p>④用紙bを、用紙aの右側の折れ目に沿って配置し、両端を折り曲げ、abの接地面をのり付けする。</p>
<p>⑤封筒の底を作るため、図のように下部からの数cmのところを折り曲げる。</p>	<p>⑥下部から折れ目まで両端に切れ込みを入れて開き、不要な内側の用紙(丸で囲んだ部分)を切りとる</p>	<p>⑦上図の点線のように下部を斜めに切ることでのり付けがしやすくなります(より封筒に見える)</p>	<p>⑧封入口を作るため、図のように上部から数cmのところを折り曲げる。</p>
<p>⑨上部から折れ目まで両端に切れ込みを入れて開き、不要な内側の用紙(丸で囲んだ部分)を切りとります。</p>	<p>⑩図のように封入口の頂部分を斜めに切ります。</p>	<p>☆完成☆ 今回はA4用紙2枚で長形3号封筒を作りましたが紙の大きさや枚数を変えることで様々な封筒にアレンジできます。ぜひ、チャレンジしてみてください！</p>	

実際〇〇したらこんなにエコだった

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol52」より

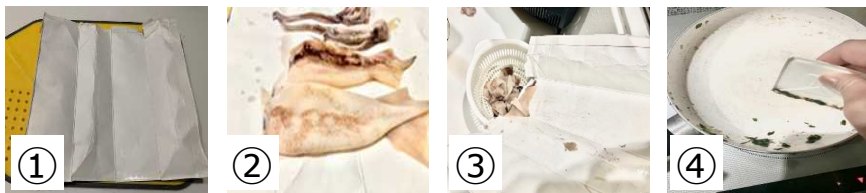
去年のエコアクション大賞を受賞した山形県公立大学法人勤務鈴木みどりさんの「牛乳パック」を余すことなく使ったアイデアを自宅で実践してみました！

まずはじめに、①水洗いして乾かしておいた牛乳パックをまな板の上に開き、②イカをのせてみましたがまったく水分が染み込むことなく、ニオイもまな板につくことはありませんでした！

イカを水洗いしようとするときに簡単！！敷いていたパックを③のように持ち上げスリットとこぼさず入れられるではないですか！煮物を調理した際のフライパンについた小ネギ達を牛乳パックの底の部分を④のようにヘラのように使い、こびりついたものも、あっという間に集めることができました。

さらに、みどりさんのアイデアでは、この牛乳パックは2層になっているので、2枚に剥がして、揚げ物をした時に剥がした面の上に置くと油の吸収も良いそうですので、今度はイカリングフライを作りたいと思います。

今回「牛乳パック」を使ったアイデアを検証いたしました。そのまま捨てる事が出来るので、節水&時短にもなるので、とってもエコであることが分かりました。みなさんもぜひ試してみてくださいね！！



検証結果

節水・時短

でとってもエコ！！ (EA21推進委員会調べ)





第2弾 実際〇〇したらこんなにエコだった

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol153」より

前回に引き続き、令和元年度エコアクション大賞を受賞したアイデアを自宅で実践してみました！今回は山形大学白楊寮勤務 田村真知子さんの「残ったカレー」を使ったアレンジ料理です。はじめに、鍋に少量だけ残ったカレーを温め直し、そこにご飯を入れてカレーと混ぜ合わせます。これだけでカレー味のチャーハンが出来上がりました！そのまま食べても美味しそうですが少し薄味なので、上からとろけるチーズをかけてレンジで1分30秒ほど加熱して、カレードリアにしてみました！チーズを加えたことで塩気が増し、薄味を上手くカバーして美味しく仕上がりました。普段自宅でカレーを作ると、つい作りすぎてしまって2日連続でカレーライスが食卓に並び後半は食べ飽きてしまうご家庭も少なくないと思います。場合によっては、食べきれずに捨ててしまうこともあるかもしれません。今回の検証のように、ちょっとした工夫でカレーを最後まで美味しく食すことができれば、結果としてフードロスにつながり大変エコになります。ついカレーを作りすぎてしまったときは今回のアイデアを試してみてください♪



インド人も満足♪



検証結果

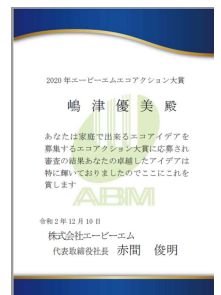
「味変」でフードロスで
とってもエコ!! (EA21推進委員会調べ)



令和2年度エコアクション大賞発表!!

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol154」より

勤務施設	氏名	エコアイデア	カテゴリー
南陽営業所	嶋津 優美	料理の際に出るジャガイモの皮を、揚げ油を再利用する為に使っています。きれいに洗ったジャガイモの皮を使用済みの油で素揚げすると、不純物やカスが取れ、きれいになり、再利用できます。揚げた皮は、塩をまぶして子どものおやつ代わりに、一石二鳥!	ごみ フードロス
山形県 公立大学法人	鈴木みどり	台所用洗剤やシャンプー・ボディソープのポンプ式ボトルで、1~2回押して間に合うところをついつい必要以上に押してつかいがちで、早くなくなります。たくさん使うと環境にも悪いです。ポンプ式ボトルの軸に太い輪ゴム(普通のゴム数本でも可)で巻くと、ポンプを押した時に下まで下がらず、1度使う量を減らすことができます。	ごみ 水
南陽営業所	五十嵐久人	子どもがジュースを飲むために冷蔵庫を開けていることが多かったので、クーラーボックスに保冷剤を入れ、子ども専用の冷蔵庫として分別した。	電気
公立置賜 総合病院	安彦 敬子	牛乳、醤油などの紙パックを切り、まな板や、鍋敷き、コースターとして使用しています。	ごみ
総務課	吉野 裕美	ユニクロのヒートテックなどジップ付きの袋は小物入れとして再利用。特に食品が入っていたジップ付きの袋は、肉を冷凍保存するとき、ジップロック代わりに使えます。着なくなったTシャツを切って、油がついたフライパンを拭いたり、お風呂の排水口に溜まった髪の毛を取るときに使	フードロス ごみ
山形県 公立大学法人	猪口 優子		ごみ
白楊寮	唐澤 恵子	ごま油、オリーブオイルのピンは残り少なくなったら、酢や醤油を入れてドレッシングとして使い切る。	フードロス



受賞者には賞状と賞金が贈呈されました



エコアクション21委員会活動報告

ヘチマたわしPROJECT 始動!!

グリーンカーテンは何にしようかと悩んでいましたが、ビルメンテナンス業を営むイーエムにピッタリの植物を発見！それは「ヘチマ」でした！最近、馴染みがなくなってしまう、名前は知っていても、普通に生活していれば話題にもならないヘチマですが、実は大変エコな植物なのです。

食用としてはもちろん、化粧水としても使われるなど、様々な場面で活用されます。中でも有名なのは、ヘチマが「たわし」として利用できることです。

内部の繊維に特徴があり近くで見るとその繊維の絡み方が複雑であることがわかります。繊維の一本一本が先細りになっているため、たわしや垢すりとしても使えるのです。乾いたままでは硬いのですが、水につけると繊維がしっかりと水を吸収して柔らかくなるため、体を洗うにも適しています。

この秋、会社で使用しているスポンジやたわしが全て自社製「ヘチマたわし」に切り替わっているかもしれません！乞うご期待！！



令和2年5月29日撮影

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol48」より

ヘチマたわし PROJECT 途中経過②

エコアクション21の取り組みの一つ、グリーンカーテン。「ヘチマたわし」を完成させるべく、今年の夏は南陽営業所でヘチマを栽培しました。8月下旬、見事なヘチマが数本収穫することができました。現在は収穫されたヘチマ数本を「たわし」として加工している真っただ中です。でも、これで終わりではありません。ここから本プロジェクトのスタートといっても過言ではありません。実際に使用し、どこまで清掃業務に活かせるのかを研究していく予定です。下の写真はヘチマたわし第1号です。。



一本目のヘチマたわし完成！！

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol51」より

ヘチマたわし PROJECT The Final①

完成した「ヘチマたわし」、いよいよ実践デビューです。まずは用途に応じ、使いやすい大きさにカット。初めは一般的な中性洗剤で食器洗いテスト。水を吸って一気にフニャフニャになってしまったので「これは失敗だったか？」と頭をよぎりました。…が、水を含むと普通のスポンジよりも柔らかくなり、細かいところまで洗うことができました。泡立ちもよく、汚れもきれいに落とせました。意外にも普通のスポンジより使い勝手が良い！すばらしい結果でした。(次回に続く)



環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol52」より

ヘチマたわし PROJECT The Final②

前回中性洗剤に完勝した「ヘチマたわし」、次は薬洗水(強アルカリイオン電解水)これに耐えることができるか不安でしたが…全く問題なしでした。最終テストは「カビとりハイター」。溶けちゃうかと心配でしたが普通に使えました！使い終わった「ヘチマたわし」はよくすすぎ、干すと元の形状に戻っていました。現在もヘチマの収穫はまだ終わっていません、まだ実がなっております。実証結果に自信を付けたので清掃業務部に納品をいたしました。(おしまい)



環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol53」より

鏡餅のアレンジレシピでフードロス

お正月も無事終わり、鏡開き(1月11日)後にお餅の消費にお困りのご家庭もあるのではないですか？そこで火も使わず簡単に短時間で作れるお餅消費レシピ「お餅DEカップケーキ」をご紹介します。お餅でしっとりもちもちとした食感になるので、おすすめです

【材料】(※約マグカップ4個分)

- 餅50g ○牛乳100cc ○砂糖15g ○卵1個
- ホットケーキミックス(HM)150g
- ベーキングパウダー(BP) 5g
- バター※マグカップに塗る用(サラダ油でもOK)

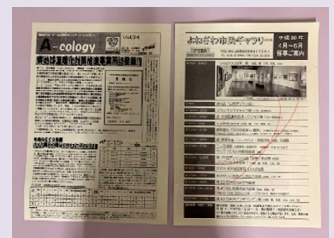
【作り方】耐熱ボウルに砕いたお餅を入れ、牛乳を加え600Wで3分半。ある程度、塊がなくなるまで混ぜたら、卵、砂糖、BP、半量のHMを入れて混ぜ、最後に残りのHMを入れてよく混ぜる。あとは、マグカップの半分より少なめに生地を流し込み600Wで1分半加熱したらできあがりです。

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol55」より

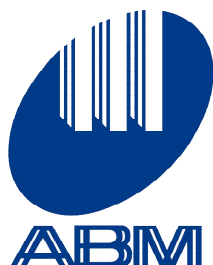


What 's A-cology (えーころじー) ?

社員全員が「エコアクション21」への理解を深め、より楽しくエコ活動を進めていただけるように、環境活動情報をこの「A-cology (えーころじー)」で発信しています。この「A-cology」は、管理している指定管理施設の広報誌の不要な裏紙を再利用して発行しております。内容は、環境目標達成状況の他、SDGs、社有車E-1グランプリ(燃費競争)、その他、委員会メンバーが考えたエコにまつわる色々なことを掲載しています。



本社および南陽営業所で配布しています。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

株式会社エービーエムは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

この環境経営レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
弊社HP (<https://www.y-abm.co.jp/>)、エコアクション21中央事務局
のHP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田584-2
TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
Email : sale@y-abm.co.jp

